

株式会社 IHI インフラシステムと国立大学法人お茶の水女子大学による 出前講座を開催します

—企業による学びの応援プログラム掲載企業による出前講座—

堺市立長尾中学校（校長：福山 和久 生徒：658 人）では、「企業による学びの応援プログラム」制度を通じ、株式会社 IHI インフラシステムとの連携により、同社と国立大学法人お茶の水女子大学による出前講座「橋のひみつを探ろう」を以下のとおり実施します。

本講座「橋のひみつを探ろう」は、プログラム掲載企業である株式会社 IHI インフラシステムが国立大学法人お茶の水女子大学と共同で開発し、お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所の特任准教授 吉村 和也さんを講師として迎えて開催するものです。

同社として共同開発により本講座を実施することは、全国で初めての試みとなります。

※企業による学びの応援プログラム

地域の教育力の向上や学校教育活動への支援を目的として、社会貢献を行う企業等と多様な学習ニーズを求める学校・地域とのマッチングを行う取組。

1 日時

令和5年2月15日（水）午前8時45分～午前10時35分（3年5組）

午前10時45分～午後0時35分（3年6組）

令和5年2月16日（木）午前8時45分～午前10時35分（3年3組）

午前10時45分～午後0時35分（3年1組）

令和5年2月17日（金）午前8時45分～午前10時35分（3年2組）

午前10時45分～午後0時35分（3年4組）

※各日、2・3時限目で1クラス、3・4時限目で1クラス実施、3日間で合計6クラス実施します。

2 場所

堺市立長尾中学校 教室（堺市北区長曾根町 1179 番地の 5）

3 対象者

堺市立長尾中学校 3年生（225人：全6クラス）

4 ねらい

橋梁の仕組みの中に、中学校で学習する内容が活かされており、斜張橋と橋桁を模した教材を実際に組み立てその構造について SDGs の内容も取り込んだ教科横断的な学習を通して学ぶもの。

5 講師

吉村 和也（よしむら かずや）

国立大学法人お茶の水女子大学 特任准教授

サイエンス&エデュケーション研究所（ISE）

（経歴）

子どもの頃から生き物や機械いじりが好きで、大学は理学部へ進学。動物の行動や運動生理に関する研究で博士（理学）の学位を取得しましたが、その時の指導教官が理科教育の専門家でもあったことから、在学中から理科教育も並行して学び、そのまま理科教育分野へ。理学の専門的な知識を背景に、理科学習指導要領に沿った出前授業の内容を研究・開発し、学校教育現場で授業を実践しています。授業には必ず実習を組み込み、子どもたちには驚きと感動を伴って理科を学んでもらいながら、理科で習う内容が社会やものづくりに大きく貢献していることを伝えています。

問 い 合 わ せ 先	（出前講座の実施に関すること） 担 当：堺市立長尾中学校 電 話：072-252-0347 ファックス：072-252-9187
	（「企業による学びの応援プログラム」に関すること） 担 当 課：教育委員会事務局 地域教育支援部 地域教育振興課 電 話：072-228-7490 ファックス：072-228-7009
	（IHI グループ橋梁出前講座「橋のひみつを探ろう」に関すること） 担 当：株式会社 IHI インフラシステム 総務人事部 総務グループ 電 話：072-223-0981 ファックス：072-223-0967